

〔例題1〕 動物の腫瘍に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 腫瘍細胞が周囲の固有組織を圧迫して押し広げるようになると大きくなる圧排性成長は、悪性腫瘍の特徴である。
2. 細胞の有糸分裂像は、悪性腫瘍にのみ認められる特徴的な病理組織学的所見である。
3. 犬のセルトリ細胞腫には、高エストロジェン症が随伴することがある。
4. ワラビの成分であるプタキロサイドは、牛に肝臓癌を高率に誘発する。
5. *p53* 遺伝子は、癌遺伝子であり、変異によって活性化すると細胞が腫瘍化する。

〔正答3〕

〔例題2〕 食中毒菌に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. エルシニア・エンテロコリチカは、4℃以下でも発育可能である。
2. 現在知られている腸管出血性大腸菌のO血清型は、O157, O26, O111の三つである。
3. ナグビブリオと腸炎ビブリオは、同一の菌種であるが、血清型と病原性が異なっている。
4. プレシオモナス・シゲロイデスによる食中毒の症状は、赤痢様の粘血便を特徴とする。
5. ボツリヌス菌が産生する毒素は、耐熱性であり、100℃、30分間の加熱でも失活しない。

〔正答1〕